

## 第2学年 総合的な学習の時間 学習指導案

白浜町立白浜中学校

教諭 尾藤伸次朗

1. **単元名** 職場体験学習を通して、働くことの目的や意義を理解し、個性や強みを見つけよう。

### 2. 単元の目標

- 職場体験学習を通して、働くことの目的や意義を理解し、体験先で働いている人の強みを見つけ、ポスターにまとめることができる (知識・技能)
- 職場体験学習で学んだことから、今後どのような学習をしたいか、体験先で働いている人の強みがどのように生かされているのかを考え、伝えることができる。 (思考力・判断力・表現力)
- 職場体験学習で学んだことともに自身を振り返り、自分の将来像について考え、今後どのような学習・活動がしたいのかを発信することができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

### 3. 単元について

#### (1) 教材観

本単元では、働くことの目的や意義を理解し、社会とのつながりを考えたりや人の強みを見つけられるようになることをねらいとしている。職場体験3日間の事前学習である自分の興味のある分野で働いている人の話や、保護者の仕事についての話を聴いたり、打ち合わせのアポ取りの電話をし、職場体験の打ち合わせを自分たちで行うといった活動や3日間の職場体験を通して、社会とのつながりや働くことの目的や意義のほかに、自分の将来像についても考えられる単元になっている。

また、3学期で自分の強みとSDGsの観点から、白浜町のためにできることを考える活動を予定しており、その単元ともつながる内容となっている。

#### (2) 生徒観

本学級の生徒は、昨年パンダの食べ残した笹を使ったアオリイカの産卵床製作や南方熊楠記念館見学、Myハザードマップの作成などSDGsを軸とした活動をしてきている。2年生になり、1学期には、白浜町の魅力を再発見・発信を目的に、エコ素材をテーマとした白浜がちゃ作成を、企業の方協力のもと行った。白浜がちゃ作成における授業では、現在の白浜町の課題を見つけたり、自分たちが描く白浜町の未来を考えたりすることができた。この単元を通して、働くことの目的・意義を理解することで、学校の中だけでなく社会とのつながりを考え、自分の強みを生かして社会に貢献するアクションプランを考えられるようにしたい。

#### (3) 指導観

本単元の指導にあたり、まずは10年後の理想を考えさせる。どのような場所にいたいのか、どのような人と一緒に暮らしたいか、どんな分野・何にかかわる仕事かしたいか、通勤スタイルや働き方などの具体的な項目ごとで考えさせる。この活動を通して、自分の将来や仕事について興味を持たせる。自分の興味のある職種や分野と、自分らしさとは何か考える。そこでは、自分らしさと

は「好きなこと」「得意なこと」「大事にしていること」の3つ掛け算であることを伝え、「強み」に着目させる。クラスメイト同士で強みを見つける活動を通して、3日間の職場体験で働いている人の強みは何かを見つけさせたい。

#### (4) ESD との関連

##### ・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

多様性…白浜の魅力はたくさんあること。社会へのかかわり方・業種はたくさんあること。

1人1人にたくさんの強みがある。

##### ・本学習で育てたい ESD の資質・能力

未来像を予想して計画を立てる力…職場体験学習を通して、自分自身の将来像を考えて、

今後どのような活動や学習が必要なのかを考えることができる。

コミュニケーションを行う力…事前打ち合わせのためのアポ取りをしたり、職場体験をする

にあたり確認しなければならない内容を自分で考えて質問することができる。

##### ・本学習で変容を促す ESD の価値観

世代間の公正…自分たちが住む白浜の魅力を次の世代へと引き継がなければならない。

##### ・達成が期待される SDGs

8 働きがいも経済成長も

11 パートナリーシップで目標を達成しよう

#### 4. 単元の評価規準

(ア)知識及び技能	(イ)思考力・判断力・表現力	(ウ)主体的に学びに取り組む態度
① 働くことの目的や意義を理解している。 ② 働いている人の強みを見つけている。	① 働くことの目的や意義をもとに今後どのような学習が必要かを考えている。 ② 働いている人の強みがどのように生かされているのか考察し、伝えている。	① 職場体験学習で学んだことを自ら振り返り、自分の将来像について考えようとしている。 ② 自分の将来像を考え、その実現のためにどのような活動・学習がしたいのかを意欲的に考えようとしている。

#### 5. 単元の指導計画(全7時間)

時数	学習活動	学習への支援	評価
1	10年後の理想を考えよう。 どのような場所で生活したいか どんな人と一緒に暮らしたいか 何を楽しみに生きているのか どんな分野・何にかかわる仕事をしているのが理想か	考えるのが難しい場合は例や選択肢を与えて、考えられるように支援する。 より具体的に将来・仕事について興味を持たせるためにどのような暮らしをすればどのくらいのお金がかか	ウ① (主体的)

	<p>毎日通勤したいか, オンラインで仕事がしたいのか</p> <p>理想とする仕事なら, どんどん成長したいか, ゆっくりいきたいか</p> <p>週何日働くのが理想か</p> <p>仕事以外の時間はどんなことをしたいか</p>	<p>るのかを提示する。</p>	
2	<p>自分の興味のある分野・悩み中の分野・興味のない分野を考える。</p> <p>自分らしさとは何かについて知る。</p>	<p>分野と職業が載っているカードを渡し、分類させる。</p> <p>自分らしさとは「好きなこと」「得意なこと」「大切にしていること」の3つの掛け算であることを伝える</p>	
3	<p>保護者の仕事の話をお聴き。</p>	<p>保護者に来てもらい, その仕事を目指したきっかけや仕事内容・やりがいなど, 保護者のキャリアについて話をしてもらおう。</p> <p>次回に自分の興味のある分野の話をお聴きするので, 質問の仕方やお聴き方を確認する。</p>	<p>ウ① (主體的)</p>
4	<p>2 時間目に分けた自分の興味のある分野で働いている人の話を聴く。</p>	<p>様々な分野で働いている人の仕事内容ややりがい, つらかったことや進路などのキャリアのお話を聴く。</p> <p>話を聴いた後は質問などをしながら対話する。</p>	<p>ウ① (主體的)</p>
5	<p>友達のお強みを見つけよう。</p>	<p>0 から強みを見つけるのが難しい時のために参考にできる強み一覧を渡す。自分が考える相手の強みと相手が考えてくれた自分の強みをお互いに伝えあう。</p> <p>職場体験でも働いている人の強みを見つけることを伝える。</p>	<p>ア② (知・技)</p>
6	<p>職場体験学習(3 日間)</p>	<p>職場体験ハンドブックに 1 日ごとの活動記録や感想を記入させる。</p> <p>3 日間で働いている人の強みを見つけさせる。</p>	<p>ア①② (知・技)</p> <p>イ② (思判表)</p>

7	<p>職場体験学習を振り返り、体験内容や働いている人の強みは何だったか、働くことの目的や意義は何だと思えるか、今後どのような学習がしたいかをまとめる。</p>	<p>体験内容や感想、見つけた強みを整理しながら振り返らせ、それらをもとに働くことの目的や意義・今後自分たちにどのような学習が必要なのかを考えさせる。次回はその内容をポスターにまとめることを伝える。</p>	<p>ウ①② (主体的)</p>
8	<p>前時の内容をポスターにまとめる。</p>	<p>働くことの目的や意義・働いている人の強みとそれがどう生かされているのかに触れながらまとめさせる。</p>	<p>ア①② (知・技) イ② (思判表)</p>

### 実践①「自分らしさを考え、職業の話を聴く」

導入で、自分らしさは「好きなこと」「得意なこと」「大切にしていること」の3つの掛け算であることを伝え、それぞれの項目について考えさせた。

それぞれの項目について書き出し、共通しているものを探す活動を行った。

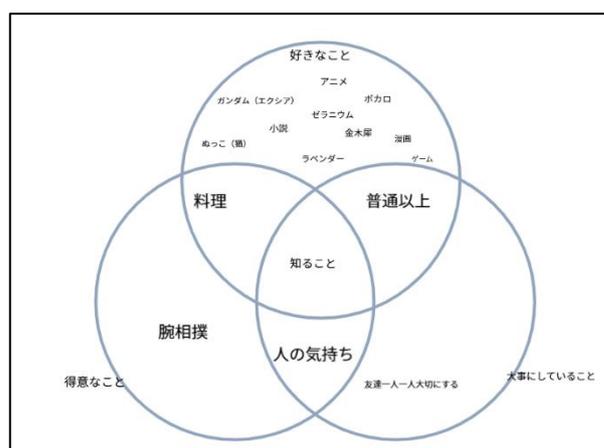
まとめ方は決めずにロイロノートを用いて活動すると、多くの生徒が図1のような表または図2のようなベン図でまとめていた。

(図1)

好きなこと	得意なこと	大事にしていること
<ul style="list-style-type: none"> <li>食事</li> <li>睡眠</li> <li>陸上</li> <li>走ること</li> <li>ゲーム</li> <li>漫画読む</li> <li>映画鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寝ること</li> <li>走ること</li> <li>怪我</li> <li>スポーツ</li> <li>連打</li> <li>陸上</li> <li>お菓子作り</li> <li>声を競技場全体に届けられる</li> <li>褒め上手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が生涯に一片の悔いなし</li> <li>過去は振り返るな</li> <li>いつの時代でも努力してあげただけが最強になる</li> <li>努力はいつか報われる。もし報われぬ努力があるならばそれは努力とは言えない</li> </ul>

座右の銘

(図2)



次の時間では、井澤友郭先生に出前授業をしてもらい、自分らしさをレゴブロックで表現する活動を行った。自分らしさを表現できるレゴブロックを1つ選び、なぜその色や形のレゴブロックを選んだのかを他者に説明する活動を行った。

その後の授業では、この自分らしさを参考に自分の興味のある分野を選び、実際にその分野で働いている人のキャリアストーリーを聴いた。

### ○考察

キャリアストーリーを聴いた生徒の感想で「何かに夢中になることでいろいろなことに挑戦でき、知ることができると思ったので、まずは自分を知ることが大切だと思った」、「カフェの話を聴いて、自分もスイーツを作るのが好きだからそういった仕事に就きたい」「まずはプログラミングから勉強したい」などがあり、話を聴いた後は対話形式で、質問などを行っている姿から、育てたいESDの価値観である「未来像を予想して計画を立てる力」「コミュニケーションを行う力」を養うことができたのではないかと考える。

### ○課題

変容を促したいESDの価値観である「世代間の公正」についてはこの実践ではあまり考えることができなかった。中にはキャリアストーリーを聴いたときに考えられている生徒もいたので、もう少しこちらから対話形式の質問の際に手立てを考えるべきであった。

## 実践②「職場体験学習」

10月23日～25日の3日間で職場体験学習を行った。

それぞれ1～3名、計17事業所で、体験学習を行い、その後、文化発表会に向けてまとめ作業を行った。職場体験の事前学習として、「事前訪問のアポ取りについて」「自分たちの強みは何か」「職場体験で学びたいこと」について学習した。

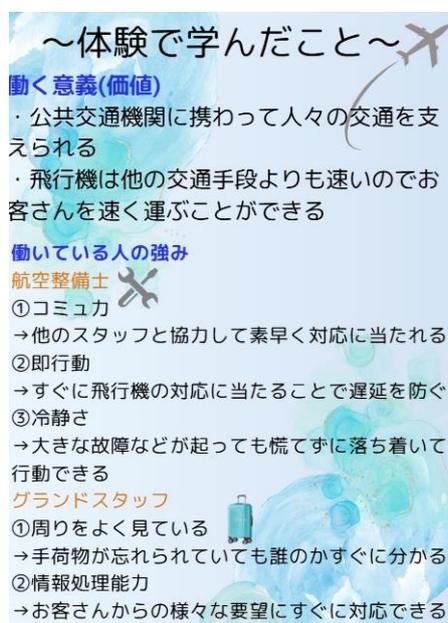
事前訪問のアポ取りについては、各事業所でグループとなり生徒たち自身で、どのような質問が必要なのか、どのように聞けば良いのかを考え、実際に電話をかけ、アポ取りを行った。

自分たちの強みについては、職場体験先で、働いている人の強みを見つけるために事前にクラスメイト同士で強みを見つける作業を行った。

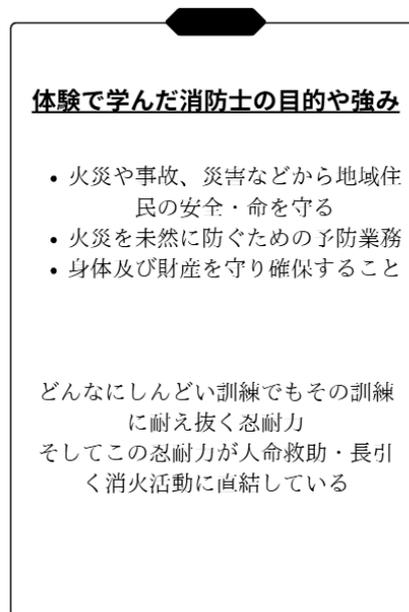
職場体験で学びたいことについて、働くことの目的・意義は何か考えること、働いている人の強みを見つけることをミッションとして、ただの体験で終わらないような工夫をした。

職場体験終了後はA3ポスター4枚に活動内容や学んだことをまとめた。(図3, 4)

(図3) まとめポスターの一部①



(図4) まとめポスターの一部②

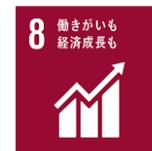


### ○考察

アポ取りの段階で、職場体験に行くにあたり何を確認しておく必要があるのか、それを聞くためにどのような質問をすれば良いのかを考えることができた。また、職場体験先で、「働く目的・意義・価値は何ですか?」と聞いた生徒もいた。これらのことから、育てたいESDの価値観である「コミュニケーションを行う力」を養うことができた。一方で、「未来像を予想して計画を立てる力」については、アポ取り段階での職場体験という1ヵ月程度のスパンでの未来像を事しかできなかったため、十分に育てることはできなかったように感じる。

### ○今後の展望

変容を促したいESDの価値観である「世代間の公正」について、来年度はこれまでに学習してきたことを生かし、「白浜の魅力」×「SDGs」でアクションを考え、白浜の町・魅力を世代間を通して伝える活動を行いたい。



### 現在の学年終了時に目指す姿

自分たちが住む白浜の魅力を再発見・発信し、自分たちの住む地域に誇りと愛着をもち、一人一人の自分らしさを理解し、その自分らしさを生かして白浜町の魅力を引き継いでいくための行動を考えることができる。

白浜町にはたくさんの魅力がある。それを観光客の人にもっと知ってもらいたい。

この活動が来年・再来年も続いていくためには、エコな素材を使った方がよい。

### 総合的な学習の時間「白浜がちゃ」

企業の方と協力し、ご当地ガチャ製作を通して白浜の魅力を再発見・発信を行う。魅力を見つける以外にも、現在の白浜町の課題と未来の白浜町がどのようなようになってほしいかを考え、そのためにはどのようなラインナップ・素材・場所で販売すればよいかを考えさせる。

### 道徳「民主主義と多数決の近くて遠い関係」

#### 「議論の進め方」

ご当地ガチャ製作で、ラインナップや素材、場所を決めるためには議論が不可欠である。クラスの意見をきちんと聴くためにどのように議論を進めれば良いのかを理解し、多数決ではなく、相手が納得するように自分の考えを理由付けしながら説明し、様々な意見を聴きながら新たな案を出すなどの方法があることに気付かせたい。

### 総合的な学習の時間「好きなこと・強み×SDGsでアクションプランを考えよう」

○主に養いたい ESD の資質・能力  
未来像を予想して計画を立てる力

未来の白浜を想像し、未来の白浜のためにアクションプランを計画することができる。自分が考えたアクションプランを実行するために、どのような人・企業に協力をお願いすべきか考えることができる。

コミュニケーションを行う力

自分が考えたアクションプランを理由付けしながら説明できる。

○主に育てたい ESD の価値観

世代間の公正

自分たちが住む白浜の魅力を次の世代にも引き継いでいかなければならない。

多数決で決めると、少ない方の意見は無かったことになってしまう

相手を敬う気持ちを大切にしたい。

一人一人にたくさんの強みがあり、それをうまく活用して働いている人がいる。

### 総合的な学習の時間「職場体験学習」

働くことの目的や意義を理解し、働いている人の強みを見つける活動を通して、自分の将来像について考えさせる。体験することで、社会と自分自身のつながりを感じさせたい。また、次の単元で、白浜の未来像を考えたり、クラスメイトや自分の強みを見つけたりする活動につながる内容にもなる。

### 国語科(光村図書)「聞き上手になろう」「敬語」

#### 「表現を工夫して書こう」

社会に出てコミュニケーションをとるための言葉遣いや手紙・文章の書き方を理解させる。また、議論を進めたり、インタビューする際に相手の意見を聞きだすために、どのような問い方・言葉遣いがあるのかを考えさせたい。